

ことば村ニュース



2020年3月

「ことば村ニュース」はイベント会場で配布しています。HPでもご覧いただけます。

1月末以来、一ヶ月半続く新型コロナウイルス感染の影響がさまざまな分野で広がっています。ことば村でも2月のシンポジウムがネット配信のみの実施になりました。引き続き、3月はサロン開催はやめ、4月に3月を予定していたサロンをネット配信のみで実施いたします。会員、参加者に被害が出ないための措置、どうぞご了承ください。

●ことばのサロンの予定

★4月のことばのサロン『『やさしい日本語』は日本語にどんな影響を与えるか?』

話題提供：庵功雄先生（一橋大学国際教育交流センター教授）

日時：3月28日（土）午後2時—4時30分

在日外国人の増加に伴い、ますます日本語教育の必要性が高まっています。「やさしい日本語」研究の第一人者の庵先生を迎え、「やさしい日本語」はどんなことばか、また逆にそれが現代日本語にどんな照明を当てるのか、大変興味深いサロンになると思います。

このサロンは、一般参加を見送り、Twitterのライブ配信のみでお送りします。どうぞ自宅などでご覧下さい。

★秋に延期のお知らせ：「創作中のアイヌ語—『アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」』を題材に—」

話題提供：中川裕先生（言語学／千葉大学教授）

大人気の漫画・ゴールデンカムイの開始からアイヌ文化の監修を続けてこられた中川裕先生のアイヌ語のサロン。昨年の10月に予定されながら台風で流会となり、今年4月に予定しましたが、秋に延期となりました。秋の開催を楽しみに！

●今年度シンポジウム「海を越えて日本語の中で生きる人たち」初めてのネット配信で実施

2月22日（土）午後2時—5時にひらかれたシンポジウムは新型コロナウイルス予防のため、ライブ配信のみになりました。海外にルーツを持ち、日本語を用いて創造的な活動を展開するふたりの話題提供者、タチアナ・スニトコさんはロシア出身、大学でロシア語を教える傍ら能舞台に立って舞い、プロの書家として本も出版、フィスク・ブレットさんはアメリカ出身、日本語で小説を発表。多彩な創造活動を繰り広げているおふたりとことば村の井上逸兵衛村長が語り合い、両方の文化を融合させる実感に満ちたお話を聞くことができました。当日の視聴のほか、現在もtwitterで視聴できます。後にことば村HPからも見られるようになります。

●対訳「日本の童話」ポルトガル語版、スペイン語版、英語版 子どもたちへ届け！

朗読DVD付「日本の童話」は外国にルーツを持つたくさんのお子たちの笑顔に会っています。ブラジルやペルー、スペインなどの日系人学校にも贈られています。（ことば村HPをごらんください）まだ残部あり、必要としている場所をお知らせください。無償（送料のみ負担）でお贈りします。

★ホームページに正会員投稿欄に原稿をお寄せください！

▼正会員投稿欄がホームページに設置されています！日本や世界のことばと文化についてinfo@chikyukotobamura.orgへお寄せください。みんなで活動を盛り上げて行きましょう！

▼会員の稲垣徹さん寄稿「世界の文字」紙や樹皮など書写媒体について、興味深いエッセイがスタート。

http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html

▼運営委員の柴田賢さん、佐野彩さんがそれぞれ留学先のことばに関する現地エッセイを寄稿中。

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131030.html>

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131124.html>

★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容をお届け中。申込は—

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>